



あさがお NEWS!!



こんにちは！

イチロー選手の引退は、平成の終わりを強く感じる出来事でした。イチローの代わりなんていない、まさに伝説に残る選手だったなどと、世界中のファンの方から惜しまれ、

“legend(レジェンド)”や“HERO(ヒーロー)”
“respect(リスペクト)”などと言った言葉で讃えられています。

私たちも、新しい時代を力いっぱい生きぬき、楽しみましょうね！！



私たちが訪問します！

桜

を見に行こう！！



桜を見に行くことを「花見」というようになったのは平安時代以降。奈良時代には花といえば梅などを指したそうです。春を代表する花と言えば、梅・桃・桜・・・開花前線は、順番に南から北に進んでいきます。そして、津軽海峡で梅・桃の開花前線は桜を待つようにストップ！北海道では3つの花がほぼ同時に開花します。

こんな開花前線を知ると、日本って本当に南から北まで長いな～と感じます(^ ^) /

春を感じながら散歩に出かけたくくなりますね！

ところで、9月には日本でラグビーのワールドカップが開催されます。日本代表チームの着用するジャージが桜をイメージさせることから「チェリーブロッサムズ」と呼ばれ、今年は9月の「桜」にも注目です。



花見団子の「色」

「花より団子」の団子でもある花見団子。きれいな三色には諸説ありますが、ピンクが桜で「春」、白が雪で「冬」、緑は新緑で「夏」を表すともいわれます。秋が入っていないことから、食べ飽きないという言葉が遊びで入っているそうです。



あなたは食べた？ 平成のスイーツ あれこれ！

- 平成2年 ティラミス
- 平成5年 ナタデココ
- 平成6年 パンナコッタ
- 平成9年 ベルギーワッフル
- 平成10年 クイニーアマン
- 平成11年 エッグタルト・生チョコ
- 平成13年 クリーム・プリュレ
- 平成18年 ロールケーキ
- 平成19年 生キャラメル・バームクーヘン
- 平成22年 パンケーキ
- 平成25年 ポップコーン
- 平成27年 かき氷
- 平成30年 タピオカ(第3次ブーム)

イタめしブームに伴った雑誌の特集で流行が加速！パブル景気は終板に...

平成3年に一度流行したが、映画「アメリ」によって人気再燃しました。
★抹茶スイーツも多様化！

TV番組で大ブレイク。食感やシロップで劇的な変化がに人気沸騰！

平成とはスイーツの時代！～平成スイーツ年表

「スイーツ番長」が登場したのも「平成」。だからというわけではありませんが、平成は「スイーツの時代」と言われています。昭和63年に世に出た女性向けの雑誌Hanakoは「Hanako族」という社会現象を生み、翌年の平成元年の流行語大賞に「Hanako、Hanako族」が選ばれるほどでした。ケーキ、チョコ、アイス、デザートなど全てを「スイーツ」と最初に称したのが「Hnako」。まさに平成はスイーツと共に始まったのです。

あさがおスタッフ紹介コーナー



訪問看護師

遠藤 正恵 (えんどう まさえ)

いつも笑顔の素敵なスタッフです！
ご利用者の思いを大切に看護します。
私たちあさがおのスタッフも遠藤看護師の
笑顔に癒され、一緒にいるだけで心がほっ
こりします。時々、とっても楽しい勘違い
エピソードを作ってくれ、事務所が笑いに
包まれます！！

スタッフYより



ふるだけでOK! 3分でスッキリ



私たちの生活に欠かせなくなってきたスマホやタブレット。長時間使うことで前のめりの姿勢が続き、肩や首に負担がかかり、様々な不調を感じます。

そこでお勧めなのが『うでふり体操』肩甲骨周辺の筋肉がほぐれ血流がよくなり、肩周りが楽になります！
両腕を同時に前後にふり、お腹を突き出さないように注意。



こんにちは。訪問看護師の遠藤です！
最近少しずつ暖かくなり場所によっては桜が咲いています。そんな町を通り抜け、日々、利用者様のご自宅に向かっています。このお仕事をしていて楽しいなあ。と思うことは、季節を感じながら病院勤務の時より近い距離で利用者様と関わることです。
看護や支援を通し、時には目にみえることのない辛さ、痛み、苦悩、よろこびや嬉しさを垣間見ることがあります。「私に何が出来るかな」といつも立ち止り考え、心をおさなりにせず大切にしようと思って看護に向かっています。

ボランティアで、地域の子どもの学習支援。子ども・高齢者の孤食に対しての居場所作りに関わっています。〈6月～スタート。月2回水曜日。正安寺〉地域に関心があります。

必要な方々に繋がりますように～♪♪

訪問の空き状況



月～金曜日：若干の空きがあります
土・日曜日：応相談

* お時間の調整等、できる限りご対応させて頂きます。まずは、お問い合わせ下さい。

* 土日は1名体制でご対応させて頂いております。

**24時間・365日緊急時の訪問、
ご対応させて頂きます！**



看護師がご自宅にお伺いします

こんな時こそ「訪問看護」の出番です！



Q：糖尿病と脳梗塞の持病がある70歳の男性です。妻とふたり暮らし。脳梗塞で右半身にマヒがあり車椅子を利用して生活してます。排泄障害で膀胱留置カテーテルを使っています。退院する時は大丈夫と思いましたが、実際生活してみると、色々困る場面や不安なことが・・・安心して生活を送りたいのですが、どうしたらいいのか。

A：私たち訪問看護師は、その人がその人らしく生きる…を大切にします。不安を持ちながらの生活はご本人もご家族も大変だと思います。訪問看護では、身体の状態観察、膀胱留置カテーテル管理方法、食事や排便など状況、入浴介助などもいたします。生活の中で起こるお困りごとを実際に見て、私たち訪問看護師の経験に基づき助言もさせて頂きます。私たち訪問看護ステーションあさがおでは、スタッフ全員が一人ひとりのご利用者様の状況を共有しチームでサポートさせて頂きます。

ご自宅での生活が24時間ご家族と共に、
より安心して送れるよう、ご家族に近い存在でありたいと考えます。



一人ひとりの利用者様を大切に
心に寄り添う看護をおとどけます

訪問看護ステーション あさがお

管理者 吉崎 由希子

〒312-0015 ひたちなか市中根3337-103

TEL：029-229-0014 FAX：029-229-0081



これからも、皆様のお力に添えるようスタッフ一同 努力し、たくさんの笑顔と出会い、地域の皆様がご自宅で安心して暮らせるよう全力でサポートします。

《訪問看護師》

吉崎由希子・田村咲子・岡崎さおり
遠藤正恵・武藤文子・矢次文子・末次佐紀子